

～自主研究会コラボシンポジウム～  
**コロナ禍における  
医療経営士のToDo**

**ZOOM**  
リアルタイム配信

**9/18(金) 19:00～21:00**

参加費：会員：1000円 非会員：3000円



【詳細  
お申込は  
こちら】

コロナ禍において医療機関は、職員は疲弊し、赤字を膨らませ、感染症患者の増減に一喜一憂し、有効な打開策が見つからないまま、コロナが収束するまで耐えるという状況です。とはいえ、他の業界のように仕事や所得が0になることはなく、国民の目がこれほど医療機関に向けられている事も過去にはなかったのではないのでしょうか。この状況において医療経営士は何をすべきか。今回は関西と神奈川の共催でシンポジウム形式で研究会を行い、それぞれの地域で実践している内容を交流させ、深めていきたいと思えます。

**モデレーター**



**荒井 ゆき**

株式会社メディリリーフ 代表取締役  
／中小企業診断士／医療経営士2級  
／神奈川研究会事務局



**前田 哲**

社会医療法人甲友会 西宮協立脳  
神経外科病院 安全管理室課長  
／医療経営士2級

**テーマ&登壇者**

「資金繰り改善策としてのリース活用」

**船山 和紀**

株式会社日医リース  
営業統括部新規開業支援室課長  
／医療経営士2級



「共和病院におけるコロナ禍の対応と  
近隣医療機関の近況について」

**洪 東基**

医療法人同友会共和病院 医療福祉課  
／医療経営士3級／介護福祉経営士2級



「社員を不安にさせない  
民間企業の取り組み」

**福井 泰志**

株式会社リブドゥコーポレーション  
経営企画課課長／医療経営士2級



「院内感染からの学びを活かす」

**柳澤 孝彰**

済生会横浜市南部病院 経営課企画係  
主任／医療経営士2級

